

3年 進 路 だ よ り

No.6 新東淀中学校 2015.7.16

7月10日に「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」と「平成28年度大阪府公立高等学校等アドミッションポリシー（求める生徒像）」が発表されました。どちらも各教室に置いてもらいます。各担任も持つておられます。大阪府教育委員会のホームページからダウンロードもできます。

学力検査と調査書の割合ー公立高校入学者選抜ー

ここでは3月の一般入学者選抜の例を見ていきましょう。

学力検査（入試）は5教科（国、社、数、理、英）で各90点の合計450点です。

調査書は9教科（国、社、数、理、英、音楽、美術、保体、技家）の評定（5段階）をそれぞれ10倍して各教科50点×9の合計450点です。

そして学力検査と調査書の総合点の900点満点で順位を決めて合否を決めます。

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプがあります。

倍率の タイプ	学力検査の成績 にかける倍率	調査書の評定に かける倍率	参 考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	

進路獲得に向けて、夏休みに入るにあたり、次のことをもう一度確認してください。

①夏休みは5教科（国、社、数、理、英）の1年生からの総復習をやり切りましょう。

②夏休みの宿題をしっかりとやりましょう。調査書の成績にも当然入ります。

例年、「実力テストや定期テストの点数は高いのに、9教科全体の評定の合計点がそれと比べるとかなり低い」という人を見かけます。入試では評定はどの教科も50点満点で換算されます。学力検査のない科目をはじめ、作品、作文や実技の試験を軽視すると大変ですよ。提出しなかったり手を抜くと、あとで厳しい結果が返ってきます。

ですから、この夏休みに出された宿題は7月中には全部やっておきましょう。そして必ず2学期の提出日に出しましょう。そのすべてが成績に入ります。これは最低限必要なことです。

旧第1学区の高校では…

旧第1学区の高校が選択する学力検査の成績と調査書の評定にかける倍率と学力検査問題の種類は次の表の通りです。学力検査問題の国語、数学、英語は、A(基礎的問題)とB(標準的問題)とC(発展的問題)の3種類の中から各高校が選択します。

学校名	学科名		倍率の タイプ	学力検査問題の種類		
	普通科	専門学科		国語	数学	英語
東淀川	普通科総合選択制		Ⅱ	B	B	B
北淀	普通科		Ⅲ	A	A	A
西淀川	普通科		Ⅲ	A	A	A
池田	普通科		I	C	C	C
渋谷	普通科		Ⅱ	B	B	B
豊中	普通科	文理学科	I	C	C	C
桜塚	普通科		I	B	B	C
豊島	普通科		Ⅱ	B	B	B
刀根山	普通科		I	B	B	B
箕面	普通科	グローバル科	I	B	B	B
春日丘	普通科		I	C	C	C
茨木	普通科	文理学科	I	C	C	C
茨木西	普通科		I	B	B	B
北摂つばさ	普通科総合選択制		Ⅲ	B	B	B
吹田	普通科		Ⅱ	B	B	B
吹田東	普通科		Ⅱ	B	B	B
北千里	普通科		Ⅱ	B	B	B
山田	普通科		I	B	B	B
三島	普通科		I	C	C	C
高槻北	普通科		Ⅱ	B	B	B
芥川	普通科		Ⅱ	B	B	B
阿武野	普通科		Ⅲ	B	B	B
大冠	普通科		Ⅱ	B	B	B
摂津	普通科		Ⅱ	B	B	B
島本	普通科		Ⅱ	B	A	A
北野	—	文理学科	I	C	C	C

アドミッションポリシー（求める生徒像）とは？

特別入試(2月)で実技試験をする高校と一般入試(3月)の高校

総合点の高い人から募集人員の90%に相当する人がまず合格となります。そのうえで、ボーダーゾーン（募集人員の90%から110%）に入った人は自己申告書と調査書の「活動／行動の記録」の記載内容が、その高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）にきわめて合致する人から優先的に合格となります。

特別入試(2月)で面接を実施する高校

（布施北、成城、西成、長吉、箕面東、岬、桃谷、市立中央高校）

学力検査の成績がある基準に達した人から面接と自己申告書と調査書の「活動／行動の記録」を資料として、アドミッションポリシーに最も適合する人から順に、募集人員の50%を上限として合格が決定します。

※公立高校の入試はすべて自己申告書を提出します。志望する高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）を理解したうえで書く必要があります。

アドミッションポリシーの例

新東淀中学校の近隣の高校の例を3つ上げます。それ以外は教室に置いているアドミッションポリシーを見てください。

北淀高校

本校では、きめ細かい指導を特色とし、規律・自主性を重んじるとともに、思いやりの心や人権尊重の精神等、豊かな人間性を育む教育を実践しています。また、ユネスコスクールとしての活動や2年次からのコース制で、生徒の自己実現を図っています。他の生徒と協調しながら、自分の可能性を伸ばそうと努力する生徒を求めます。

- 1) 本校志望の意志が強く、「造形」「情報」「教養」のいずれかのコースで自己実現をめざす生徒
- 2) 中学校での活動（部活動、生徒会活動）に積極的に取り組み、入学後も活動を継続する意志を持った生徒
- 3) 国際交流活動に取り組み、夢に向かってチャレンジする生徒
- 4) 人に対して思いやりの心を持ち、人の立場を理解して行動できる生徒
- 5) 規則正しい生活ができ、高校生活を前向きに送ろうとする意志を持った生徒

柴島高校

一人ひとりを大切にする教育が創立以来の本校の伝統です。社会で主体的に生きていくための学力を育てる「コアカリキュラム授業群」、自分だけの時間割を作成するなかで自己決定力を育てる「総合学科システム」（半期で科目の見直しが可能）、一人ひとりが自分らしさを持って生きていくことを可能にする「多様性尊重の取組」が本校の特色であり、常に変化する今日の社会のなかで「未来を変える力」を育むことを目標にしています。

- 1) 自分を含めてみんなが幸せになれるために社会に貢献したい、という強い意志を持った生徒（本校は知的障がい生徒自立支援コースを設置しています。）
- 2) 筋道をつけて考え表現する力、他者との協働を通して課題を解決する力、興味・関心のある分野について探求する力をつけたい、という強い意志を持った生徒
- 3) 自分の生き方を自分で決める力をつけたい、という強い意志を持った生徒
- 4) 自分とは違う考え方や価値観を持った他者とも積極的にコミュニケーションする力をつけたい、という強い意志を持った生徒

東淀工業高校

本校は、「誠実・創造・勤勉」を校訓に掲げ、ものづくり産業の担い手となる人材の育成を目標に様々な教育活動を展開しています。本校では、就職や進学など、自分の進路について考え、目的意識のはっきりした生徒の入学を期待しています。

- 1) 「ものづくり」への興味・関心があり、工業に関する知識・技術の習得に強い意欲を持っている生徒
- 2) 各種の資格取得・検定試験にチャレンジする生徒
- 3) 学校や社会のルールやマナーを守り、基本的生活習慣が身についた生徒
- 4) 学校行事及び学級活動、部活動に積極的に参加する生徒